

(この用紙は資源保護のため再生紙を使用しています)

6月巡回日程表

● 毎月 1 回は保険証の提出を●

会場	日	時	診療受付時間
鷺崎	6日(月)	27日(月)	午後2:00~3:00
見立	15日(水)		午後2:00~2:30
虫崎			午後3:00~3:30
北鷓島	9日(木)		午後2:15~2:45
真更川			午後3:00~3:30
江積	20日(月)		午後2:30~3:00
北小浦	8日(水)	29日(水)	午後2:00~2:30
黒姫			午後3:00~3:30
願	2日(木)	23日(木)	午後2:10~2:40
藻浦			午後3:10~3:40



『私の健康日記』を
活用しよう!

前回につづき、血液検査について紹介します。

なお、血液検査の結果についてわからないことがあれば、必ず主治医の先生に確認してください。



主な検査について

佐渡市立両津病院 臨床検査科

Ⅰ生化学・免疫検査

16 LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)

肝胆道系疾患の診断に用いる。

17 アミラーゼ(AMY)

膵疾患のスクリーニング、診断、および経過観察の指標。

18 ALP(アルカリフォスファターゼ)

肝、胆道疾患の病態チェック。
骨疾患ならびに骨病変を伴う疾患のチェック。
骨の発育が盛んな小児から思春期にかけて高値となる。

19 コリンエステラーゼ (ChE)

肝機能を知る指標と成る。
重症度により値が減少する。
脂肪肝や有機リン系農薬中毒では値が上昇する。

20 AST (GOT)

肝疾患、心疾患の有力な指標。

21 ALT (GPT)

肝、胆道疾患の有力な指標。

22 LDH (乳酸脱水素酵素)

心疾患、肝疾患をはじめ悪性腫瘍、白血病等で上昇するが、特異性が低い為、スクリーニング検査の目的で実施される。

23 γ-GTP (γ-グルタミルトランスフェラーゼ)

肝、胆道系のスクリーニング検査。
特にアルコール性肝障害の鑑別診断、経過観察、治療の指標。

24 CK (クリアチニンキナーゼ)

組織細胞障害を反映する事から、各種疾患(心筋梗塞、多発性筋炎、甲状腺機能障害等)の診断、治療効果判定、予後判定に重要。
但し、過度の運動負荷でも上昇する。

25 H-FABP (ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白)

急性心筋梗塞発症早期の診断マーカーである。

26 血糖

糖尿病診断及び経過観察。
食事により変動する。

27 ヘモグロビンA1c (HbA1c)

採血時点より前(1~2ヶ月間)の血糖値の平均的状态を把握できる。
このことから、糖尿病に於ける治療の指標となる。

28 C-反応性蛋白 (CRP)

炎症マーカーであり、炎症の有無、程度の推定、炎症病態の経過観察に重要である。

29 尿アルブミン

糖尿病の経過観察。
糖尿病における合併症の1つである糖尿病性腎症を早期発見する目的で行なう検査。

30 eGFR (推算糸球体濾過量)

血清クレアチニンと年齢を用い計算式で腎排泄機能を表す。

※一般的な検査項目を簡単に紹介しましたが、この他にも多岐にわたる検査項目があります。
これらの検査結果を総合的に判断し診察あるいは治療方針の補助的役割を担っております。詳しい内容等につきましては主治医まで、お気軽にお尋ねください。

